

第67回全国和裁技術コンクール

〈開催要項〉

開催日時・会場

- 日時／令和5年12月10日（日）
- 会場／ナチュラルック茅場町新館3階大会議室
東京都中央区日本橋兜町12-7 兜町第3ビル
TEL.050-3816-3939

一般社団法人日本和裁士会

開催の目的

全国和裁技術コンクール

きものは日本の伝統的な文化を背景に持つファッションとして、世界からも高く評価されています。近年、人生儀礼の簡略化や着装や洗濯の難しさ、価格の高さなどにより需要は減少しましたが、憧れは根強く、また多様な色や柄、素材、仕立て直せば世代を超えて着継げるリサイクル性なども改めて注目されています。

一般にきものは染織品として認識され、その素晴らしさが称えられます。しかし、文化の香り高い織物や染物も、それ自体では平面の布です。人が着て美しさを発揮する「きもの」へと仕立てる工程なしには、着ることさえできません。この仕立てを担っているのが「和裁士®」です。日本固有の「運針」を駆使し、知識、知恵、創意を込め、一人ひとりにフィットするきものを縫い上げています。しかし、今日ではきもの需要の減少や海外縫製の増加に伴い、国内における「和裁」の継承が困難な状況にあります。

本会は後継者の育成と伝統技術の保存を図る目的で、創立以来の中核事業として、若い世代を対象とした全国和裁技術コンクール（競技会）を毎年開催しています。より多くの参加者を募り、技術研鑽のモチベーションを高める機会創出の観点から、第65回より会員以外にも対象を広げた作品応募によるコンテスト形式に転換しました。審査やその結果もオンラインで公開し、公平性を担保するとともに、和裁および和裁士®の価値伝達につなげていく所存です。67回目の今回はより気軽に参加でき、人材育成につなげていけるよう長襦袢の縫製も課題に加えます。「きものの部」「長襦袢の部」の2本立てでコンクール事業の進化に取り組みます。

開催概要

1. 主催

一般社団法人日本和裁士会

2. 実行委員

大会委員長（本会会長）、副委員長（同副会長）、審査委員長（専務理事）で構成。

3. 実施要項

(1) 参加資格 日本和裁士会会員とその生徒・研修生、会員外の和裁に携わる者

(2) 競技課題

- ・きものの部：女物袷長着の縫製
※所要時間による採点あり（4.縫製規定）。
- ・長襦袢の部：女物袷長襦袢(袖無双・胴抜きでも可)

(3) 出品点数 50点を予定

(4) 出品方法 ①応募用紙に必要事項を記入のうえ、使用する材料（反物）の写真を添付し、郵送かFAXかメールで本部事務局に提出する。

②応募期間は令和5年10月2日（月）～10月31日（火）。

※応募用紙を受理後、出品者に作品番号と所要時間票を郵送。

④応募後、出品する作品を縫製し、作品番号を作品に縫い付け、所要時間票を添えて本部事務局に送付。

作品は令和5年11月30日（木）必着。

※応募作品の送料は応募者負担、返却の送料は主催者負担。

※審査終了後、応募作品を返却する。

(5) 出品料 ①きものの部：当会会員とその生徒・研修生：13,000円（税込）
一般（会員外）：18,000円（税込）

②長襦袢の部：当会会員とその生徒・研修生：8,000円（税込）
一般（会員外）：10,000円（税込）

②出品料は令和5年11月8日（水）までに当会口座に振り込むこととし、振込の確認をもって申請完了とする。

〈振込先〉 ゆうちょ銀行 一般社団法人日本和裁士会

【店名】〇〇八 【店番】008 普通 5122230

【記号】10050 【番号】51222301

(6) 応募用紙・作品の送付先

一般社団法人日本和裁士会本部事務所

〒104-0042 東京都中央区入船2-4-4 今村ビル201号室

TEL.03-6262-8315 FAX.03-6262-8505

メールアドレス：wasai@news.email.ne.jp

4. 縫製規定

(1) 縫製時間

①きものの部

縫製の所要時間は問いません。ただし6時間以内に縫い上げた作品を「時間点」の10点(満点)とし、6時間以上は1時間ごとに1点減点する。

※左袖(上前袖)縫いと裏衿付けからまとめまで行い、たたみ上げて完成とする。

②長襦袢の部

縫製の所要時間は問いません。ただし3時間以内に縫い上げた作品を「時間点」の10点(満点)とし、3時間以上は30分ごとに1点減点する。

※左袖(上前袖)縫いと衿付けから両袖付けを行い、たたみ上げて完成とする(技能検定=国家検定3級と同等の規定)

(2) 時間測定は当会会員と会員外の応募者は自己管理。生徒・研修生は、会員(先生)のもとで作業を行い、会員(先生)の時間測定を受ける。作品に作品番号を縫い付け、縫製に要した時間を記入した所要時間票を添えて応募する。

※公正を期すため、縫い上がった作品については、所要時間外での仕上げや押しをしないこと。

(3) 縫製材料 縮緬・綸子の無地・小紋・付下げ等
長襦袢の材料は自由とする。

(4) 寸 法 きものの部：身丈4尺以上、袖丈1尺3寸以上
長襦袢の部：身丈3尺以上

5. 審査要領 審査はオンラインで公開

技能(国家)検定などの時間点もかんがみ、時間と出来栄の両方で技術を競えるよう、以下の10項目で審査する。0.1点刻み100点満点で採点し、順位をつける。

〈審査項目〉 きものの部 ①所要時間(時間点)

②袖丈、袖口、袖口下、丸み等

③袖付け、振り、衿かぶり、身八ツ等

④表衿付け、掛け衿かけ等

⑤裏衿付け、衿先、衿くけ等

⑥裾、袂、立袂等

⑦身丈の吊り合い、身巾の吊り合い等

⑧素縫い、中綴じ等

⑨仕上げ、コテ当て等

⑩総体

- 長襦袢の部
- ①所要時間（時間点）
 - ②袖丈・袖巾の左右均等
 - ③袖付け、衿かぶり等
 - ④衿付け等
 - ⑤衿くけ等
 - ⑥立衿付け等
 - ⑦身丈の吊り合い、身巾の吊り合い等
（胴抜きはくけの具合）
 - ⑧素縫い等
 - ⑨仕上げ、コテ当て等
 - ⑩総体

6. 審査委員

日本和裁士会本部役員、技能グランプリ入賞者、全国和裁技術コンクール入賞者等

7. 各賞の授与

審査の結果、きものの部は点数が上位の者から5名に各種賞状（申請中）、長襦袢の部は参加人数に応じて上位数名に各種賞状（申請中）を授与する。

8. 結果発表・表彰

審査の翌日、令和5年12月11日（月）にオンラインにて審査結果を発表し、その後、当会ホームページに入賞者を掲載する。

以上